

第56回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】①病院について

東海病院では、婦人科が週に1回しか診察を行っておらず、予約をしたとしても受診まで時間がかかってしまう。

⇒【村長コメント】

婦人科の先生を確保し、最低でも週に1回以上診察を行えるようにする。

【福祉総務課コメント】

村立東海病院の婦人科は、毎週金曜日及び月2回土曜日に診療を行っております。

診療と併せて女性検診も行っていることから、一人あたりの診療に時間がかかる場合もあり、予約の方でもお待ちいただく場合がございますので、ご了承ください。

なお、産婦人科の医師確保についてですが、慢性的な医師不足に加えて、全国的に婦人科の医師数が少ない状況にあります。村立東海病院を運営しております（公社）地域医療振興協会と連携して、継続的な確保に努めてまいります。

②道路等について

- 1) 船場地内の踏切（道路）が狭く危険であるため、拡幅してほしい。
- 2) 道路側溝の蓋に畑からの土が流入し、草が生えている。

⇒【村長コメント】

- 1) JRとの協議等が必要であるが、検討中である。
- 2) 担当課へ伝える。

1)【都市整備課コメント】

須和間踏切については通学路となっておりますが、歩道がなく狭隘な踏切であるため、車と歩行者等の接触が懸念されています。歩行者等の安全を確保するために、歩道の設置に向けて村と東日本旅客鉄道(株)で協議を進めているところです。

2)【農業委員会・農業政策課コメント】

農地の適正管理については所有者の責務ですので、側溝への土砂流出については、関係課が連携しながら指導してまいります。

③スーパーマーケットについて

押延地区付近にスーパーマーケットがない。南台団地や緑ヶ丘団地の住民が利用できるようなスーパーマーケットがほしい。

⇒【村長コメント】

南台団地や緑ヶ丘団地の住民だけとなると難しい。利便性を確保する方法を検討したい。

【2】集会所の新設について

集会所の新設を行ってほしい。

また、集会所新設について担当課の方に伺ったが、村長の対応と職員の対応に違いを感じており、住民目線に立っていないのではないかと感じる。

⇒ **【村長コメント】**

集会所単体での建設予定は今のところないが、サービス付高齢者住宅に集会所の役割を足したものを建設し、その際に村から補助を出す等も方法の一つであると思う。

職員の対応についてだが、そこまでの決定権がないため、どうしていいかわからないところがあることはご理解いただきたい。検討はしているが、検討が不十分であるという認識はある。地域をどのように支えていくかは地域づくり推進課だけではなく、全庁的な課題として受け止めていきたい。

【3】 未来の建築について

東海村に生まれて60年になる。この60年間で東海村は目ざましい発展を遂げ、豊かな村になったと思う。そこで、次は村のシンボルとなるような建築物(モニュメント)をつくってはどうか。東海村といえば原子力のイメージが強いが、それを払拭するような魅力的な建築物をつくってほしい。

⇒ **【村長コメント】**

現在、既存の建築物の長寿命化をメインで事業を行っているため、新規の建築物を建築することは難しい。しかし、建物の外観を変えるなどしてシンボル化する等の方法はあると思う。ご意見として伺う。

【4】 特筆すべき事項なし